



# 復幸だより

発行日：平成25年12月19日 第1号

## 創刊しました！

今月から、当事務所の復興支援事業やイベント等をお知らせするため、定期的にこの情報誌を発行させていただきますことになりました。

地域の皆様の生活が1日も早く復興され、幸福が訪れますよう、職員一丸となって頑張っています。

## 筋力低下予防教室を実施しています！ in 山元町

今年度、山元町の応急仮設住宅で月1回筋力低下予防教室を開催し、理学療法士や作業療法士が筋力低下を予防する講話（姿勢の大切さ等）と実技（高齢の方にとって大切な筋トレの紹介）を行っています。

9月24日（火）は中山熊野堂仮設住宅集会所で開催し、山元町災害FM放送局（りんごラジオ）からの取材もありました（10月9日（水）放送）。参加者からは、「常に良い姿勢を意識することの大切さが理解できた。」「最低でも現在の筋力を維持していきたい。」などの感想を頂きました。一方で、仮設住宅でやること

がない、ほとんど動かないという声も聞かれ、本教室は高齢の方向けの筋力トレーニングを日々の生活に少しずつ取り入れる動機付けとなっています。今後は1月15日に旧坂中仮設住宅集会所、2月27日に町民グラウンド仮設住宅集会所、2月28日にナガワ仮設住宅集会所で実施予定です。



移動動物ふれあい教室を開催しました！ in 岩沼市

10月30日（水）に岩沼市立東保育所園庭で、移動動物ふれあい教室を岩沼市主催、仙台保健福祉事務所・動物愛護センター共催で開催しました。

東保育所は震災で被災し、仮設保育所として今年4月に再開しています。

当日は、保育所の園児38名と外部参加者13名の計51名が参加しました。

子供たちは子犬・うさぎ・モルモット・成犬とのふれあいに笑顔がこぼれんばかりでした。



## 里の杜あそび場を提供しています！ in 岩沼市

今年7月から月に2回程度、NPO法人冒険あそび場さんの協力を得て、岩沼市の応急仮設住宅に入居している子供達に遊び場を提供しています。



12月4日（水）は、午前中に「i あいプラザ」の和室で0～6歳の乳幼児を対象とした、おいなり組シアターや手遊びなどを行い、午後は「里の杜中央公園」



に遊び道具を乗せた「プレーカー」が登場し、体を使った遊びを楽しみました。

岩沼市の応急仮設住宅にはこれまで遊び場がなく、住宅にひきこもる子供も多かったとのことでしたが、この日参加した子供達は目がとても生き生きとし、遊びに夢中のような様子でした。

また、参加した大人の方々も、次はどんな遊びをしようかと楽しみ



な様子でした。

次回は「冬休みとくべつあそび場」としてより多くの方に参加いただく予定です。

## 心のサポーター養成講座を開催しました！ in 松島町

10月21日（月）松島町保健センターどんぐりにおいて、身近にいる心に悩みを抱えた人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援につなげ、見守る《ゲートキーパー（いのちの門番）》を知っていただく講座を開催しました。今回は全5回のうちの第3回目で、保健福祉ボランティア、民生委員、地域住民の方20名にご参加いただき、「話を聞くコツについて～ゲートキーパーの視点から～」という内容で行いました。保健所保健師の講話と参加者同士で「傾聴」を体験したり、相談に乗って対応に困ったことをグループで話し合ったりと、終始和やかな雰囲気で行うことができました。

## 不法投棄防止一斉検問を実施しました！ in 白石市

11月5日（火）白石市斎川の国道4号線で、宮城県環境生活部循環型社会推進課、白石警察署、仙南保健所及び塩釜保健所で産業廃棄物運搬車両に対する一斉検問を行い、廃棄物の適正処理について指導、啓発を行いました。



今回検問した7台中、1台が返却マニフェスト不携帯、他1台が産業廃棄物収集運搬業許可証（写）不携帯であったため口頭指導を行いました。他には、無許可業者、不法投棄目的等の不適正処理の車はありませんでした。

## 復興住宅と福祉のまちづくり研修会を開催しました！ in 山元町&仙台市

10月25日（金）に県職員及び市町村職員を対象に研修会を開催し、山元町の渡邊隆弘保健福祉課長と東京大学高齢社会総合研究機構の後藤純特任研究員に講演いただきました。



山元町では、県内で最も早く平成25年4月に災害公営住宅への入居を開始しました。若いファミリー世帯と単身や夫婦の高齢者世帯が入居できるよう、2戸1棟とし、浴室や階段の設置、バリアフリー等に配慮して建設されました。入居後は「顔合わせ会」を行い、町内会等のコミュニティ形成に取り組み、高齢化率が高いため、今後、町全体として地域包括ケアを考えな

がら入居者支援を進める、ということでした。

後藤氏からは、2世帯単位等の複数世帯入居を優先したり、大学やNPO法人等と連携し、住民の話し合いを促し、自治会の立ち上げを進めたりすると、新たなコミュニティ形成がしやすくなる、というお話をいただき、建設・保健福祉・町づくり部局の横断的な連携の必要性を感じました。



## 感染性胃腸炎に

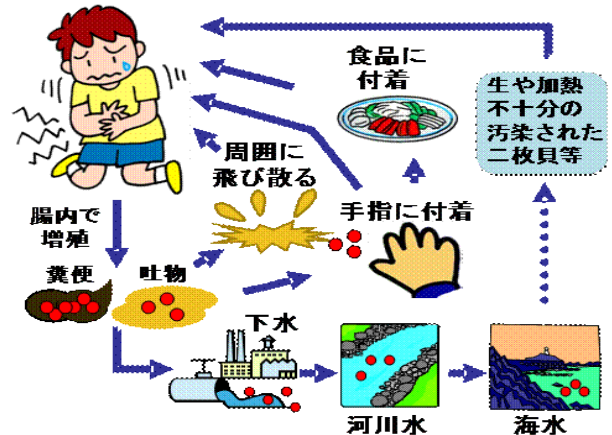
# 注意

### 1. 感染性胃腸炎って？

●感染性胃腸炎とは「ノロウイルス」「ロタウイルス」等の微生物が原因の胃腸炎の総称です。主な症状は腹痛、下痢、嘔吐、発熱で、子どもやお年寄りなどでは重症化することもあります。

### 2. どうやって感染するの？

ノロウイルスに感染



### 3. 予防のポイントは？

- 十分な手洗いをしましょう。特に排便後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗い、清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。
- ふん便やおう吐物の処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は流水と石けんで十分に手を洗いましょう。
- 使用した調理器具は、よく洗い、熱湯で消毒（85℃で1分間以上）または消毒（塩素系漂白剤など）してください。

【イラスト引用】北海道稚内保健所ホームページ

<http://www.souya.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hgc/noro-riifu-QA.htm>

発行・問合せ先

宮城県仙台保健福祉事務所HP委員会

TEL：022-363-5502

FAX：022-362-6161

E mail：sdhwfzpg@pref.miyagi.jp